

こども課では、赤ちゃんが生まれる前から学校卒業まで、切れ目ない支援体制により、未来を担う子どもたちの健やかな成長と保護者が安心して子育てできる環境づくりを進めています。  
 園こども課 ☎88-8771

## 勝山市児童センター

～放課後・長期休暇などの子どもたちの居場所づくり～



放課後などに様々な体験活動をして過ごせる場として、市内9か所に児童館などがあり、すべての子どもたちが無料で利用できます。

### どんなことをして過ごしてるの？

- ・地域の方とのイベントや読み聞かせ会
- ・ドッジボールなどの運動
- ・クラフト工作、チャレンジ遊び
- ・宿題や読書



子どもたちの興味、地域との関わり、季節の行事など考慮し企画しています！

### 保護者の声

地区の子どもは少ないですが、ここで友達と楽しく過ごしているのが安心しています。毎月ある行事も喜んでます。



### 利用できる子ども

市内に住所を有する小学生  
 ※利用には事前に申請が必要です

### 開設時間

平日 午後1時30分～6時  
 ※土曜日・長期休暇は午前8時～午後6時

園こども課 ☎88-8771

## 勝山高校コラム

「ひびきは空に」 ～まこと真・誠・信～



勝高HP

### スポーツ・文化の秋 勝高生が活躍

#### 福井県高等学校新人大会

【男女バドミントン部】男子学校対抗▶準優勝☆、女子学校対抗▶第3位、男子ダブルス▶準優勝 宮川力也・田中天祥ペア☆、第3位 鎌田聖斗・池田 輝ペア☆  
 ※☆は1月開催の全国高校選抜大会北信越予選会に出場

#### 陸上競技部

女子100m▶第3位 木下ゆき◇、女子400m▶第4位 山口優月◇、女子200m▶第6位 山口優月

#### 弓道部

個人男子▶第5位 原田駿◇、個人女子▶第4位 四谷絢香◇

#### 男子テニス部

学校対抗▶第3位  
 ※◇は北信越大会出場

#### 福井県総合美術展

日本画部門【芸術部】高文連賞▶横山結香  
 ※昨年に引き続き連続入賞  
 ふくい理数グランプリ 高校の部【物理部門】優秀賞▶鈴木陽翔 島田優大 朝日向琉輝

### 福井県吹奏楽コンクール 高校B部門

#### 【吹奏楽部】金賞

全国食育王選手権大会 特別賞(女子栄養大学学長賞)  
 ▼久保朱莉 吾田杏奈 川村彩花

### 勝高の「探究」、進化中！

「ラウンドテーブル」を実施しました。各自の探究について、1年生は「テーマ設定の理由」、2年生は「テーマの具体的な進め方や課題の解決」に関して、学年の枠を超えて意見交換しました。後半では3年生も参加し、後輩にアドバイスやエールを送りました。次回「ラウンドテーブルII」は、大学や企業の方など外部の方を招聘して2月に実施する予定です。



### ご協力をお願いします！

「恐竜テーマの楽曲制作プロジェクト」吹奏楽部では、音楽の力で地元勝山をPRするため、ふるさと納税を活用したプロジェクトを実施しています。  
 締 12月31日(日)



詳細はこちら

福井勝山総合病院 放射線科 植松秀昌



## 早期アルツハイマー型 認知症診断支援システム

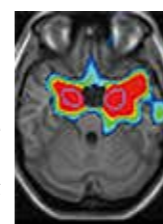
### JCHO-Column

高齢化に伴い認知症患者が増加しています。最も多い原因がアルツハイマー病です。アルツハイマー病は異常タンパク質が脳に蓄積、神経細胞が死滅し、脳が徐々に萎縮して発症します。  
 アルツハイマー病は側頭葉の海馬と呼ばれる場所から脳萎縮が始まり、徐々に萎縮範囲が広がっていきます。アルツハイマー病のかなり進行した状況ではCT、MRIの画像から海馬の萎縮がはっきりと認識できますが、早期では海馬の萎縮は軽度であり、視覚的に萎縮程度を判断するのは困難です。

早期アルツハイマー型認知症診断支援システムであるVSRAD(ブイエスラッド)は患者さんの脳のMRI画像を同年代の健常者の画像と比較して、統計学的な解析を行い、海馬の萎縮程度を数値化するソフトウェアです。  
 健常者ではこの数値が1.0以下ですが、この数値が2.0を超えるとアルツハイマー病の可能性が高いと判断されます。

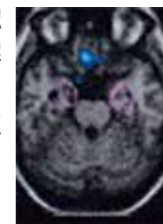
#### アルツハイマー病の可能性が高い方の画像

側頭葉は萎縮しており、わかりやすいように萎縮範囲が赤色で着色されています。VSRADの解析では数値が8.87と2.0を大きくこえており、アルツハイマー病が疑われます。



#### 健常者の画像

側頭葉の萎縮は認めず、VSRADの解析でも数値は0.9と2.0以下であり、正常と判断されます。



アルツハイマー病の診断は専門医による問診、診察、脳の萎縮程度を踏まえて総合的に診断されます。  
 福井勝山総合病院でも専門医の依頼に応じて頭部MRI検査にVSRADによる解析を追加しています。お心当たりのある症状をお持ちの患者さんは担当医師にご相談ください。

## ふるさとを訪ねて

～地域文化を掘り起そう～

シリーズ「市内の小学校」

市史編纂室 山田 雄造

### 昭和19年度の勝山町の学校

勝山町役場文書には学事報告が綴じ込まれている。今回はその中から3つの学校について紹介する(表参照)。国民学校から見えていく。初等科は6学年まで高等科は2学年まで在学した。男子校と女子校に分かれたのは明治41年(1908)で、国民学校と名称が変わったのは昭和16年(1941)である。

両校合わせて52学級で生徒数が2736人、今の小学校に当たる初等科だけでも42学級2329人である。この数字はあくまでも勝山町だけの数字である。当時の町の人口は13863人でうち6歳から12歳だけで人口の3分の1を占め、人口ピラミッドで言えば富士山型であったことがわかる。

校名	学級数	生徒数
成器男子国民学校 初等科	24	1,240人
成器男子国民学校 高等科	6	249人
成器女子国民学校 初等科	18	1,089人
成器女子国民学校 高等科	4	158人
勝山高等女学校 一学年	1	49人
勝山高等女学校 二学年	1	49人

18年度高等科卒業生122人について見ると、男子校は就職が60人、青年学校入学41人、満蒙开拓義勇軍6名などである。同じく女子校は青年学校48人、勝山女学校29人、工場22人、農業・他行就職が26人となっている。  
 勝山高等女学校は前年に実科高等女学校から名称が変わったばかりの学校で2年制であった。98人中の現勝山市域外の出身は1割に満たず3分の2が勝山町であった。戦時中であつたためか4月から7月までの期間動員、通年動員が行われた。前者は農村動員で麦手入と刈取、田植、草刈などに延べ2016人、託児所へ396人など、後者は5月から12月まで松文、兄弟会社へ出動とある。



成器男子国民学校の校舎(明治41年)